

令和6年度 市民の声一覧（上半期公表用）

受付月	分類	件名	市民の声	回答(対応)内容	回付先
4月	子ども・教育	大津中学校駐輪場について	<p>困っています!! 生徒の自転車置場に屋根がありません。 早急につけて欲しいです。 雨の日大変困ります。わざわざ屋根のある体育館側まで行き、合羽、ヘルメットを脱がなければなりません。 また、スペースが無いのか、花壇の跡地を駐輪場にしてはいる様な場所もありました。(もちろん青空駐輪場) 公立中学校で屋根の無い駐輪場なんてあり得ないのですが… 教育委員会に問い合わせたところ、以前から予算の要求をしているが、なかなか難しく設置には数年かかりそう。 との返事。(丁寧に説明してくれました。) 大規模工事を要求しているわけではなく、最低限の雨風はしのげる駐輪場にしたいだけです。 財政課の皆さん、大津中学校に通わせる保護者として、適切な学校環境を望みますので、予算をつけて下さい。 宜しくお願いします。</p>	<p>このたび、高知市立大津中学校の駐輪場整備についてお問い合わせいただきました。 さて、本市には60校の学校施設があり、老朽化が進んでいることから、多くの箇所での整備が必要となっておりますが、厳しい財政状況が続いていることから、児童生徒に及ぼす危険度などによって優先順位付けを行い、毎年度の予算配分を行っています。 このたびお問い合わせいただきました「大津中学校の駐輪場整備」につきましては、前述の優先順位付けの結果、現在まで予算配分を行うことができていないものです。 本市としましては、大津中学校が令和3年度から自転車通学を実施し、その結果として駐輪場が不足している現状を解消したいという認識は持っておりますので、今後とも引き続き早期に整備ができるよう、予算を編成する過程において検討してまいります。</p>	財政課 学校環境整備課
4月	子ども・教育	保育料について	<p>出産を望んでいますが、上の兄弟と年が離れていて保育施設には0歳児で一人での入所となり、5万円弱の保育料が発生することを考えると三子目を諦めている状態です。低所得世帯の減額はホームページで拝見しましたが、対象ではない世帯には生活に困るレベルです。上の兄弟が小学生、中学生でも三子目以降の保育料を無償あるいは減額や副食費のみにはできないでしょうか。子どもの手がかからなくなってきてからもう一度出産したいと考えている女性も多いのではないのでしょうか。同時入所でないも二子目以降無償ではないのは一人っ子の家庭も増える一方ではないでしょうか。三子目出産でお祝い金を大きな額で支給などもあれば保育料にあてることもできるかと思えます。なにか第三子に踏み切れる制度があれば良いなと思います。</p>	<p>多子世帯の保育料負担軽減に係るご要望をいただきましたが、保育料につきましては、全国的に同じ制度での運用として、国の定める保育料徴収基準額表の所得区分に応じて決定されており、保育料として利用者に負担していただく費用を除いた保育所等の運営などの保育の実施に必要な費用を国、県、市町村で負担しています。 こうした中、高知市では財政負担を増やすこととし、次の独自施策に取組み、保護者の負担軽減を図っております。 まず、国の保育料徴収基準額表の所得区分が8階層であることに対して、本市では所得区分を15階層とし、さらに各階層で国の基準額より低く保育料を設定し保護者の負担軽減を図っております。 次に、多子世帯の保育料につきましては、同時に2人以上が保育所等を利用されている場合に、国が2人目を半額としていることに対して、本市では平成26年度から2人目以降の保育料を無償化し、副食費(おかず・おやつ代)につきましても、令和元年10月から月額4,500円を上限に減免することで保護者の負担軽減を図っております。(令和6年4月から月額4,800円に改定) その他にも、就労されている保護者などから、保育時間を延長する要望が高まってきたことから、7時30分からの早朝保育や、19時までの延長保育の実施拡大に取り組むなど、保護者の負担軽減に向けて取組みを進めております。 このように現時点におきましては、本市の財政負担を増やしすべての保護者の負担軽減を図りながら、同時に2人以上入所している多子世帯への負担軽減を図っている状況であり、本市の財政事情からも、今以上に多子世帯への保育料等の減額の拡大を図ることは困難な状況でございます。今後、国の子ども・子育て政策等の中で多子世帯の負担軽減の拡充が図れるよう注視してまいりますので、ご理解の程よろしく願いいたします。</p>	保育幼稚園課
6月	子ども・教育	保育料、子育て支援について	<p>保育料が高く最近の物価高などで生活が苦しい現状です。 当方は低所得者には該当しませんが決して裕福ではありません。 毎回給付金が低所得者だけが納めできません。 真面目に税金を納めている人の方がなぜ支援の恩恵が少ないのでしょうか。 低所得者だけでなく子育て世代全体への支援を要望します。</p>	<p>子育て世帯への給付金につきましては、国から所得制限を基準とした給付が示され、本市としてもその基準に従い実施いたしました。 一方で、子育て世帯の負担軽減のため、本市独自の支援施策として、子ども医療費助成や保育所同時入所時の2人目以降の保育料無償化については所得制限を設けず実施しております。また、国においても、児童手当について、次代を担う全てのこどもの育ちを支える基礎的な経済支援として位置付け、令和6年10月分から支給に関する所得制限を撤廃することとなりました。 子育て支援に関しては様々な課題がございますが、頂戴したご意見を参考にさせていただき、限られた財源の中で、どの施策が効果的であるかを十分見極めながら、子育て支援の充実を図ってまいりたいと考えておりますので、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。</p>	こども政策課 子育て給付課

受付月	分類	件名	市民の声	回答(対応)内容	回付先
6月	子ども・教育	子育てしながら働く女性に対する市のスタンスについて	<p>保育園の認定の件で、高知市において「安心して子育てできる環境」が整っていないと感じた出来事がありましたので、市政としての見解を伺いたく連絡しました。</p> <p>【経緯】 夫が単身赴任のため、24時間ワンオペで未就学児2人を育てています。雇われて働いているのは、家事・育児・仕事のほか、急な子どもの体調不良等への対応が厳しいと感じたため、3月末に前職を退職しました。「求職中」として継続して保育園に預けながら、家庭と仕事を両立できる方法として起業する道を模索し、現在オンラインの起業スクールに必要な知識を習得しています。先日保育幼稚園課に、起業スクールで勉強しているので「就学の扱いで保育園に預けられないか相談したところ、「ルールでは学校教育法に定められた学校と、職業訓練校のみとなっている。学校へ通い家を空ける場合は認められるが、オンラインスクールの場合、家にいるから子どもを見ながら勉強できると考えられる(※1)ため、就学の認定はできない。継続を希望する場合は、短時間で就労しながら起業の勉強をしてください(※2)」という趣旨の回答を受けました。</p> <p>【私の意見】 (※1)家で子どもを見ながら勉強するのは不可能なので、同じ「仕事をするために勉強する」という目的なのに、学校に通うために家を空けるか、在宅で勉強するかで差をつけるのはどうかと思います。オンラインで何でも勉強できるようになっている時代にも則してないと感じました。 (※2)短時間で働きながら勉強してワンオペで子ども2人を抱えて家庭を回すのはとても大変です。また、待機児童が多く、他に優先されるべき人がいっぱいいるなら今回の対応も納得できませんが、現在高知市内の保育施設は空きがある中で、「オンラインスクールなので」という理由で強く必要性があるのか疑問です。私は、子ども2人を育てながら働きたい意欲もあるのですが、今回の保育幼稚園課の対応では、とても安心して子どもを育てながら働き、社会に貢献することができません。起業が遅れることによる経済的損失もあると思います。今回の対応について、総合戦略の基本目標3「安心して子育てできる環境づくり」を掲げる市政としてどう考えるか、見解をお伺いしたいです。 ※保育幼稚園課に対する苦情ではなく、市として「安心して子育てできる環境づくり」という点でどう考えるのか、子育てしながら働く女性に対して市はどのような姿勢なのか、という点から回答をいただきたいので、保育幼稚園ではなく政策企画課等からの回答を希望します。</p>	<p>保育認定の要件につきましては、子ども・子育て支援法に「保護者の労働又は疾病その他の内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であること」と規定されており、就学・職業訓練につきましては、同法施行規則において、「学校教育法に規定する学校等の教育施設に在学している場合及び職業能力開発促進法・職業訓練又は職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律に規定する施設等において職業訓練等を受けている場合」と規定されております。</p> <p>業務を所管する保育幼稚園課では、法令に基づき保育認定の判断をしたもので、お子様は保育認定として継続した施設利用ができるよう説明させていただいた上で、お様が通園されている認定こども園では就労形態等の保育要件を問わずに利用可能な教育認定のご利用ができることも提案させていただいたところで、小さなお子様をおひとりで見守ることは、本当に大変なことだと思います。また、そんな中で、起業に向けてのご準備を進めるご苦労は如何ばかりかとお察し申し上げます。</p> <p>保育行政では、人口減少等の問題もあり、保育所等に通っていない子どもへの支援を強化する観点から、保育要件によらず利用できる新たな給付制度が創設されるところで。また、保育行政に限らず、子育て支援に関しては様々な課題がございますが、頂戴したご意見を参考にさせていただき、限られた財源の中で、どの施策が「安心して子育てできる環境づくり」に効果的であるかを十分見極めながら、子育て支援の充実を図って参りたいと考えておりますので、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。</p>	こども政策課 保育幼稚園課
7月	子ども・教育	プール授業の中止について	<p>市内の全市立学校に今季はプールを使った授業を中止するよう要請した。このような報道がありました。プール授業の中止は反対です。死亡事故は悲しいですが、だからといっていざという時、自分で自分の命を守る為にある水泳授業を、それを学ぶ機会を子供達から取り上げるのは大人の都合で無責任です。事故の責任を重く受け止めそれでも前に進んでください。一人の命が失われたからこそ授業は行うべきです。それこそ子供たちに選ばせてあげてください。授業を受けるか否かを。</p>	<p>高知市教育委員会といたしましては、本来、安心安全であるはずの学校において、今回の事故が発生したことを非常に重く受け止めております。</p> <p>現在、検証委員会において事故の調査・検証を行っていただいております。今後については、検証委員会での検証結果や再発防止策を十分に踏まえ、水泳授業の方針を定めることとしております。その方針のもと、各学校が取組を徹底し、子供たちの安心安全の確保ができるまでは、水泳授業の実施は困難であると判断したため、臨時校長会にて水泳授業の中止を要請いたしました。</p> <p>今後、二度とこうした事故を起こさないようにするため、そして、子供の命を守るための対応でございますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>	学校教育課
7月	子ども・教育	幼稚園保育園の主食持参について	<p>年度内に高知県に転入予定があります。子どもの幼稚園保育園を探している際、主食は各自持参となっている園が多く大変驚きました。今現在、子ども達を運んでいる保育園はもちろん完全給食で自園調理です。子どもは毎日の給食を楽しみにしており、いつも〇〇食べたんだ〜と嬉しそうに報告してくれます。また余談にはなりますが、自分自身の保育園時代30年前の岡山でも園で全て用意されていたと母から聞きました。今気温が暑い日が続いているということもあり、自宅からの持参となると食中毒も心配ですし、何より持って行った主食の管理がどのようになされているかも気になります。園によって様々ですが、お昼までリュックに入れておくなどの場合、お着替えを取り出す際等何に何かの拍子にお弁当が落ちるなどしてご飯がなくなるようなことも可能性としてはなくありません。また、これも親が気をつければよいことですが、親が準備を忘れて、経済格差で子どもによって量や質に差ができることも懸念されます。食べることは生きること、子どもの成長に直結することだと思います。高知県に転入するにあたって、子どもの食の保障すら子育て支援としてされていないことはこれから高知県で子育てすることへの不安が増すことに繋がりました。何卒早急に完全給食の実施をお願いしたいです。無償化していただけるのであればそれが一番ですがそれが難しいのであればまずは保護者への徴収の負担額は少し増やしていただければよいので主食持参なしの完全給食へ市として一律できるように制度体制を整えていただきたいです。</p>	<p>保育所等における給食については、お子さんの成長に重要な食事であることから、衛生面の重要性のほか、忙しい保護者の皆様の負担軽減、お子さんに温かいご飯を提供できるメリットがあることを認識しております。</p> <p>一方で、公立・民営を問わず多くの保育所等の現状として、主食の提供を前提とした施設・設備となっておりますので、配膳スペースの確保を含む調理室の改修等や新たな調理員の確保など、設備面・人員面についての課題があることから、それぞれの施設の調理現場の状況と対応が難しい状況です。</p> <p>また、主食の持参をやめ、保育所等で主食を提供するためには、保護者の皆様に新たな費用負担を求めることになり、多くの保護者の理解を得ることが困難であると考えています。</p> <p>現時点におきましては、本市の財政事情からもそれらへの対応を本市で行うことは困難な状況ですので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。</p>	保育幼稚園課